B(2)④ 教員や研究員の国際公募の推進

大阪大学に優秀な研究者を世界から集める「国際公募」の実施に向け、現状の課題分析、対策立案と評価に基づき、国際公募手続き支援プログラムを実施する。

本事業のポイント

- 教員等の国際公募の実態の把握
- 教員等の国際公募率向上に向けた支援方法の検討と実施
- 教員等の国際公募支援の高度化に向けた国際公募英文化支援ツール音新たな開発と配布

本事業の目指すイメージ

過去

- 国際公募割合　約50％（平成27年度）
- 大阪大学に世界から優秀な研究者を集めるための教職員に向けた効果的な支援プログラムがない

現在

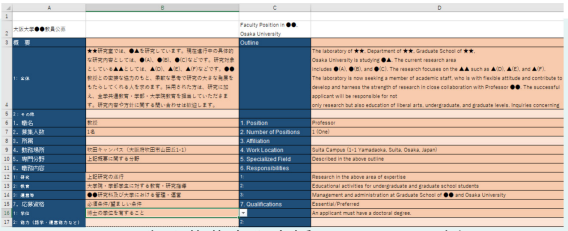
- 国際公募割合　約98％（令和2年度）
- 国際公募手続き支援プログラムによる公募要領（日本語版）の英文化支援の経験を発展させ国際公募英文化支援ツールの開発と配布

目指す状態

- 国際公募割合　100%
- 大阪大学に世界から優秀な研究者を集めるための教職員に向けた効果的な国際公募を実施する枠組み

国際公募手続き支援プログラムの内容

- 平成27年度～平成30年度
  - 公募要領（日本語版）の英文案の作成
  - 各部局作成の点検基準に基づく、応募書類（英文）の点検案の作成
  - 遠隔地とのオンライン面接の実施支援
  - 部局向けの国際公募英文化支援マニュアル（ツール）の作成
- 平成30年度～
  - 国際公募英文化支援マニュアル（ツール）の配布開始



国際公募英文化支援ツールの画面例

取り組み実績と得られた成果

●取り組み実績

- 教員・研究員の国際公募を浸透させるために、人事課と協力して、平成28年7月に理事名で国際公募の推進を改めて周知。
- 各部局における国際公募の実態を詳細に把握するための学内調査を実施。結果、公募関連業務の英文対応の負担が課題であると判明。
- 学内調査を踏まえ、国際公募の学内定着に向けて、平成28年度下期から、公募要領の英文作成支援、英文応募資料の点検の協力をURAが実施。
- 部局向けの国際公募英文化支援マニュアル（ツール）の整備

●得られた成果

- 国際公募割合約98%（令和2年度）
- これまでに行った支援についてのフォローアップアンケートにおいて、有用性に関して高い評価を得ている。

（令和3年10月）